

- 問1 ある都市の特定の地域において、1990年代後半には約300人であった人口が、2010年代後半には6,000人を超えるほどに激増した事例があります。この地域では、以前は工場や駐車場として使われていた場所の多くが、現在は21階以上の高層マンションに変わっています。このような変化をもたらした主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. ドーナツ化現象による、職住分離を目的とした郊外住宅地の拡大
 2. 鉄道利用などの利便性を背景とした、再開発による居住機能の強化
 3. 食料自給率の向上を目的とした、都市農業のための生産緑地の指定
 4. 地価の下落による、広大な敷地を持つ低層工場の都心部への移転
- 問2 日本の地域別農業産出額の内訳を示した統計において、米や畜産を抑えて野菜の割合が全体の約40%と最も高くなっている地域があります。この地域が、東京などの大消費地に近い利点を活かして、新鮮さが求められる野菜などを生産し出荷する農業の形態を何と呼びますか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 関東地方で行われている近郊農業
 2. 北海道で行われている大規模な畑作
 3. 九州地方で行われている畜産主体の農業
 4. 東北地方で行われている稲作中心の農業
- 問3 日本の諸地域の位置関係や特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 埼玉県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地はさいたま市である。
 2. 群馬県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は前橋市である。
 3. 栃木県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は宇都宮市である。
 4. 茨城県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は水戸市である。
- 問4 香取市佐原の歴史的景観が形成された背景として、地理的な条件と歴史的な背景を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 急峻な山々に囲まれた要害の地であったため、戦国時代の城郭建築を中心とした都市景観がそのまま残された。
 2. 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。
 3. 明治時代以降に海外貿易の拠点として開港されたため、西洋風のレンガ造りの建物が並ぶ港町として発展した。
 4. 広大な平野を活用した大規模な稲作を推奨するため、幕府が農民の居住区として計画的に建設した集落である。
- 問5 埼玉県行田市の市街地には、かつての城下町としての構造と、近代以降に発展した地場産業の歴史が共存する景観が見られます。敵の侵入を遅らせる目的で道路をクランク状に曲げた「柵形」と呼ばれる遺構や、明治時代以降に日本最大の産地として発展したある製品を保管するための蔵や鋸屋根の工場が今も残っています。この地域で発展した伝統的な産業として正しいものはどれですか。 (2026年 東京都公立入試 類似)
1. 繊維産業
 2. 足袋製造業
 3. 醤油醸造業
 4. 陶磁器製造業
- 問6 関東地方のある県について、人口密度が1平方キロメートルあたり3800人を超えて非常に高い一方で、夜間人口に対する昼間人口の割合を示す「昼夜間人口比率」が約89.9%と、100%を下回っている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 広大な農地が広がり人口が分散しているため、1平方キロメートルあたりの人口密度が関東地方で最も低くなっている。
 2. 東京都などの近隣都県へ通勤・通学する人が多いため、昼間の人口が夜間の人口よりも少なくなっている。
 3. 製造業が盛んで県外から多くの労働者が流入するため、昼間の人口が夜間の人口よりも多くなっている。
 4. 県庁所在地にすべての機能が集中しているため、県内の他市町村から県庁所在地への移動が極めて多くなっている。
- 問7 日本の空港利用に関する統計において、成田国際空港と東京国際空港（羽田）の合計旅客数が一億二千万人を超えているという事実は、日本の社会においてどのような規模感であると言えますか。最も適切なものを選びなさい。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 日本の総人口に匹敵するほどの極めて大きな規模であり、東京圏が世界的な交通の拠点であることを示している。
 2. 成田国際空港の旅客数が東京国際空港を圧倒しているため、千葉県が日本最大の航空交通の拠点となっている。
 3. 2つの空港を合わせても一億人に到達しておらず、アジアの他の主要都市のハブ空港に比べると規模は小さい。
 4. 旅客数よりも貨物取扱量の方が重要視される日本の航空業界において、例外的に旅客数が多い事例である。
- 問8 関東地方の各県の工業的特徴を比較した際、製造品出荷額等の合計が約18兆円と非常に大きく、かつ産業内訳において「化学工業」や「鉄鋼業」の占める割合が他県に比べて高い特徴を持つ県はどこですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 千葉県
 2. 神奈川県
 3. 埼玉県
 4. 群馬県
- 問9 関東地方の北東部に位置する茨城県において、県庁が置かれている都市として正しいものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. さいたま市
 2. 水戸市
 3. 前橋市
 4. 宇都宮市
- 問10 東京都心部の地価が周辺の郊外地域に比べて著しく高くなっている主な理由として、都市の機能と土地利用の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 都心部は建物の高さ制限が郊外よりも厳しいため、1階あたりの土地利用料を高く設定する必要があるため。
 2. 都心部には広大な農地や工業用地が確保されており、食料生産や製造業の拠点としての需要が集中しているため。
 3. 都心部には官公庁や企業のオフィス、商業施設が高度に集積しており、土地利用の効率性と経済的価値が高いため。
 4. 都心部は郊外に比べて人口密度が低く、豊かな自然環境を維持するための管理費用が地価に上乗せされているため。
- 問11 ある都市の昼間人口を夜間人口で割り、それに100を掛けて算出する数値を「昼夜間人口比率」と呼びます。東京都においてこの数値が100を大きく超えている状況と、その背景について述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 近隣都県から流入する通勤・通学者が多いため、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回っている。
 2. 夜間の人口が昼間よりも多くなるドーナツ化現象が加速し、都心部の居住者が急増している。
 3. 東京都の夜間人口が近隣都県よりも少ないため、比率が100を下回る計算となっている。
 4. 昼間と夜間の人口差がほとんどないため、都市機能が一日を通じて安定していることを示している。
- 問12 千葉県の工業出荷額の内訳において、全体の20.8%を占める主要な品目があります。この品目の工場は千葉県北西部の海岸線沿いに集中して立地していますが、その品目として正しいものを次から選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. パルプ・紙
 2. 石油・石炭製品
 3. 輸送用機械
 4. 繊維
- 問13 群馬県などの標高が高い地域で行われている「高冷地農業」の特徴として、記述内容が正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 冬に温暖な気候を活かし、平地で収穫が少なくなる1月頃にキャベツなどを出荷する。
 2. 都市に近い利点を活かし、トラック輸送の時間を短縮してレタスなどの鮮度を保ち出荷する。
 3. 夏に降水量が少ない気候を活かし、乾燥に強いオリーブやぶどうを大規模に栽培する。
 4. 夏に冷涼な気候を活かし、平地で収穫が少なくなる8月頃にキャベツなどを出荷する。